

平成27年度事業計画

<平成27年度の活動の3本柱>

- 1 区市町村教育委員会、学校（教員）との連携・協力を図り、「地域教育」を活性化させる取組みを支援する。
- 2 地域資源の効果的な連携・導入を促すため、地域教育支援人材を養成する。
- 3 企業CSR活動や大学・NPO等とのネットワークを積極的に進め、都立学校への教育支援プログラムの効果的な導入を図る。

1 教育支援コーディネーター・フォーラム

平成27年12月13日（日） 都庁大会議場にて開催を予定

2 課題別取組

平成27年度は、以下の4つの課題別部会を設置して、活動を活性化させていきます。

(1)教育支援コーディネーター部会（地域コーディネーター育成、コーディネーター・フォーラム企画）

ア コーディネーター研修企画委員会

- 教育支援コーディネーターの資質向上のためのコーディネーター基礎研修等の企画や実施を行う。

イ 教育支援コーディネーター・フォーラムの開催

- コーディネーター及び企業・NPO団体の交流の機会を提供する。

平成27年12月13日（日）実施を予定

ウ 地域コーディネーター養成プログラムの開発

- 学校支援ボランティア推進協議会事業と連携し、地域コーディネーターの基本的な養成研修プログラムを開発する。

(2)都立学校支援部会（都立高校における「キャリア教育」等教育支援）

ア 都立高校生への社会的・職業的自立支援教育プログラム事業の実施

- 企業や大学、NPO等会員団体の協力を得て都立高校生向け「社会的・職業的自立」支援教育プログラムを希望する都立高校に教育プログラムを導入する。

- 高校生キャリア教育プログラム「ジョブシャドウ」、青少年を対象とした職業体験『Tokyo しごと倶楽部2015』等、会員団体と連携しプログラムを提供する。

イ 能動的学習プログラムに関する研修の実施

- 生徒の能動的学習を効果的な引き出す学習手法に関する研修を企画実施する。

(3)区市町村支援部会（学校教育支援、学校外教育支援）

ア 学校支援ボランティア活動の活性化支援

- 区市町村学校支援ボランティア推進協議会事業担当者及びその他学校支援事業担当職員等を対象として、事業への理解促進や活性化に向けた研修の機会を提供する。

- 学校支援ボランティア推進協議会事業実施地区のコーディネーターを対象として、基礎研修を実施する。

イ 学校外教育支援活動の活性化支援

- 放課後子供教室担当職員を対象に放課後子供教室等学校外教育活動について理解と促進を図る研修の機会を提供する。

- 学校外教育活動の担い手となる地域教育支援人材の養成として、放課後子供教室活動の活性化

や学校外教育活動の充実を図る研修を実施する。

○土曜日の教育支援体制等構築事業実施地区のコーディネーターを対象として、基礎的な内容を中心とした研修を実施する。

(4) 地域・団体連携協働部会（外部団体活用による防災教育推進等）

ア 連携協働事例の検討

○現代的な課題を踏まえた連携協働の具体的な事例や実績を収集し、検討を行う。

イ 防災教育に関する取組

○外部団体の活用による地域と連携した防災教育に関する取組事例を収集し、HP 上等で周知する。

ウ 地域や会員団体と連携した取組

○地域や会員団体と連携した教育支援活動の推進を図る。

3 東京都生涯学習ホームページを効果的に活用した情報提供・情報交流の推進

「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」のウェブサイト（運営）を活用し、企業・大学・NPO等の会員が取り組む教育支援活動を、学校外の社会資源を効果的に活用するための教育支援プログラムとして学校関係者をはじめ、地域教育の関係者に紹介していきます。

また、メールを活用した会員間の情報交換を充実していきます。

4 都民や教育関係者への周知

「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」や「地域教育プラットフォーム」「都民の教育参加」について、広く都民の方や教育関係者に知っていただくために、都民向け情報誌『[とうきょうの地域教育](#)』（年4回発行）や、説明資料による広報活動を充実していきます。